



只見川支流八木沢

1996年7月28日

L1

生活改善センターの脇に車を置いて出発。しばらく林道を歩く。大きな堰堤を過ぎ、徐々に沢との高低差が縮まってきたところで、沢に入る。

F₁, F₂, F₃ と直登してゆく。F₂ と F₃ の間にマムシがいたので、石をぶつけて退治する。沢には結構くもの巣がかかっていたので、小枝で払いながら歩く。F₃ 10mは右岸を高捲くが、上部の斜面が草付なので、懸垂下降で沢に戻る。

3:1 の二俣で左俣に入り、次の二俣で右沢に入る。ナメを登ってゆくと斜面が立ってきて、三ツ又に分かれたナメ滝（ほとんどスラブ）となる。真中の滝を選び、灌木につかまり、時にはフリクションをきかせながら登ってゆく。水が潤れると突起の多い岩場となる。草木がまばらと

なり、只見川対岸の山々がよく見渡せるが、なんとめざしたコルはやや下の方ではないか。少し南にコースがずれたようである。トラバースか直登かと迷ったが、直登して支尾根に取り付き、少しヤブをこいで尾根に出た。 (記・

[タイム] 生活改善センター(7:20)→遡行開始(7:30)→ 3:1 の二俣(9:30)→尾根(10:40)

只見川支流滑沢左俣

1996年7月28日

L1

八木沢の遡行を終えた後、尾根で休憩もとらず、方向を定めて滑沢めざして下降に移る。10分とかからずに沢に入り、すぐ水が出てくる。右支沢が合流するまで、沢幅が狭くナメで、滑り台のような所もあり、本当に滑ってしまった。